

レジメンcode:	C56-21
適応がん種:	卵巣癌
レジメン名:	NGT
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
NGT	ハイカムチン	1.0~1.5	mg/m <sup>2</sup>	点滴(30分)	d1~5

day1~5

- |           |       |                           |
|-----------|-------|---------------------------|
| 1) デキサート  | 6.6mg | 1 V                       |
| 生食        | 50ml  | 1 本                       |
|           | 主管①   | 点滴 15 分                   |
| 2) ハイカムチン |       | 1.0~1.5 mg/m <sup>2</sup> |
| 生食        | 100ml | 1 本                       |
|           | 主管②   | 点滴 30分                    |
| 3) 生食     | 50ml  | 1 本                       |

フラッシュ

〈所要時間 約1時間〉

骨髄抑制リスク因子別のノギテカン推奨用量

リスク因子	ノギテカン初期投与量
なし	強力な前治療がなく、良好なPSであれば、1.25~1.5mg/m <sup>2</sup> /日を5日間連日投与し、1コースは21日間とする
広範な前治療	1.25mg/m <sup>2</sup> /日を5日間連日投与し、1コースは21日間とする さらなるリスク因子がある場合は1.0mg/m <sup>2</sup> /日までの予防的減量が必要
白金製剤による前治療	1.25mg/m <sup>2</sup> /日を5日間連日投与し、1コースは21日間とする さらなるリスク因子がある場合は1.0mg/m <sup>2</sup> /日までの予防的減量が必要
高齢者	1.0~1.25mg/m <sup>2</sup> /日を5日間連日投与し、1コースは21日間とする
腎機能不全	p.10の表参照
放射線治療	1.0~1.25mg/m <sup>2</sup> /日を5日間連日投与し、1コースは21日間とする

Armstrong DK.: The Oncologist. 9, 33-42(2004)

腎機能障害及び骨髄抑制の前治療経験を有する患者に対するノギテカン推奨用量

クレアチニンクリアランス (mL/minute)	骨髄抑制性の前治療の程度に基づくノギテカン推奨用量 (mg/m <sup>2</sup> /日×5日間、1コースは21日間)	
	最小限の前治療	大量の前治療 <sup>a</sup>
≥80	1.5	1.25
40~59	1.25	1.0
20~39	0.75	0.5
≤20	NE <sup>a</sup>	NE

a: not established  
b: 6コース以上の白金製剤による前治療

Armstrong DK.: The Oncologist. 9, 33-42(2004)